

2026年JAF四国ダートトライアル選手権第3戦

2026年JMRC四国ダートトライアルシリーズ第3戦

## つるぎアルペントライアル2026 part1

主催：ラリークラブつるぎ (TSURUGI)

開催日：2026年6月14日

場所：三好グラベルパーク

レポート：JMRC四国 広報担当

写真協力：高木裕美

### RWDクラスは上野倫広選手、SD2クラスは山崎利博選手が流石の走りで優勝 PN+クラスの一色健太郎選手、SD1クラスのチャモロ選手がシリーズ2勝目

今年のJAF四国ダートトライアル選手権も第3戦を迎え、全6戦の折り返し点に到達。今回は選手権対象外クラスを含め、近年、最多となる44名の選手が参加。他地区からも全日本選手を含め多数の選手が参加し、シーズン前半の集大成にふさわしい激戦が繰り広げられた。

クラス設定以来、初の成立となった後輪駆動のRWDクラスは4名の参加ながらも3名が全日本選手という豪華な顔ぶれ。まず、第1ヒートをリードしたのは、全日本でもポイントを重ねている斎藤道夫選手。第2ヒートもタイムを伸ばし、クラスラストゼッケンの全日本ランキングでは上位に位置する上野倫広選手のゴールを待つ展開に。第1ヒートは3位の上野選手であったが、見事、逆転して優勝。斎藤選手が2位。そして、若手全日本選手、畑窪琢巳選手が3位となった。PN+クラスの第1ヒートをリードしたのは第1戦優勝の全日本ジムカーナドライバーの一色健太郎選手。僅差で超ベテランラリードライバーの松原久選手が追いかける展開。第2ヒートでは前走の一色選手が大幅にタイムアップ。逆転を狙った松原選手はなんとミスコース。結果、一色選手が優勝して2勝目。2位は第1ヒートのタイムで松原選手、そして3位には一色選手とダブルエントリーで、車のオーナーであるマキネン選手が入った。第1戦は谷芳紀選手、第2戦はチャモロ選手が優勝しているSD1クラスは、2勝目を狙う2人の争いが注目されたが、第1ヒート、谷選手がリタイアに終わりチャモロ選手がリード。谷選手は車のダメージのため第2ヒートは不出走となり、更にタイムアップを果たしたチャモロ選手が優勝して2勝目。2位には丸本淳二選手、3位は松岡竜也選手となった。四国地区戦のレギュラードライバーに加え、他地区からの参加、そして全日本ドライバー、ラリードライバー等、多彩な顔触れの16名の選手が参加し、最激戦となったSD2クラスの第1ヒートをリードしたのは四国地区戦では絶対的な速さを誇る梶田昌弘選手。その梶田選手をラリーやレース等でマルチな活躍をしている寺川和紘選手、中国地区から今シーズンはシリーズ参戦し、上位争いをしている丸本光選手が僅差で追う展開。ただ、第2ヒートに入ると、まずは谷正史選手、そして寺川選手、更に全日本トップドライバーの山崎利博選手がベストタイムを更新。ラストゼッケンの梶田選手は第1ヒートゴール後の車両トラブルのため不出走となり、山崎選手が優勝、2位には寺川選手、3位が谷選手、4位が丸本選手、梶田選手は第1ヒートのタイムで5位となった。



RWDクラス優勝の上野倫広選手



RWDクラス2位の斎藤道夫選手



RWDクラス 3位の畑窪琢巳選手



PN+クラス優勝の一色健太郎選手



PN+クラス 2位の松原久選手



PN+クラス 3位のマキネン選手



SD1クラス優勝のチャモロ選手



SD1クラス 2位の丸本淳二選手



SD1クラス 3位の松岡竜也選手



SD2クラス優勝の山崎利博選手



SD2クラス 2位の寺川和紘選手



SD2クラス 3位の谷正史選手



クローズドクラス優勝の速水龍太選手



RWDクラス表彰



PN+クラス表彰



SD1クラス表彰



SD2クラス表彰



クローズドクラス（選手権対象外）表彰